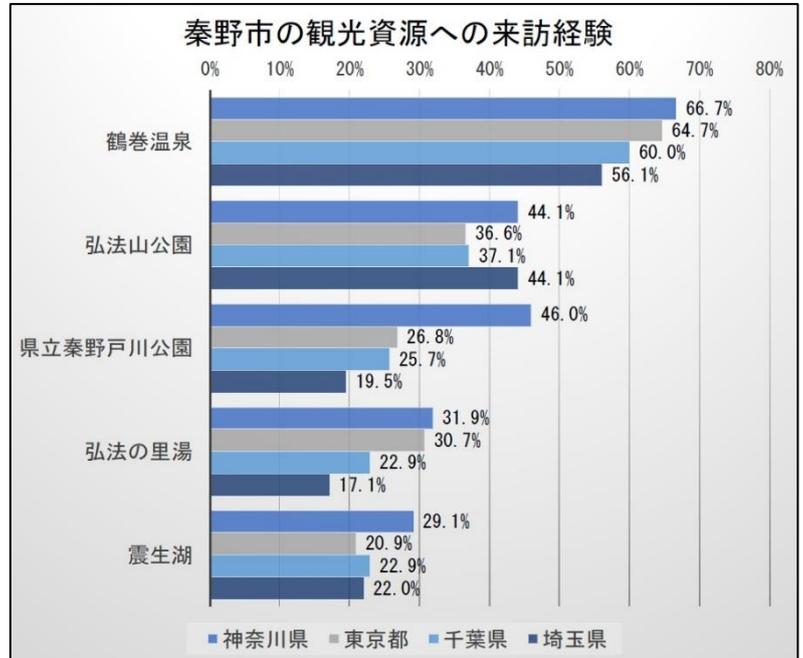


### 3. 弘法山公園の利活用に関するニーズ等

#### 1) 弘法山公園来訪者のニーズ等

##### ① 秦野市の観光資源への来訪経験

都市住民（1都3県）における「秦野市の観光資源の来訪経験」については、「鶴巻温泉」の割合が最も高く、次いで「弘法山公園」や「県立秦野戸川公園」の割合が高くなっており、市外からの来訪者は、弘法山公園をよく利用していることが分かります。

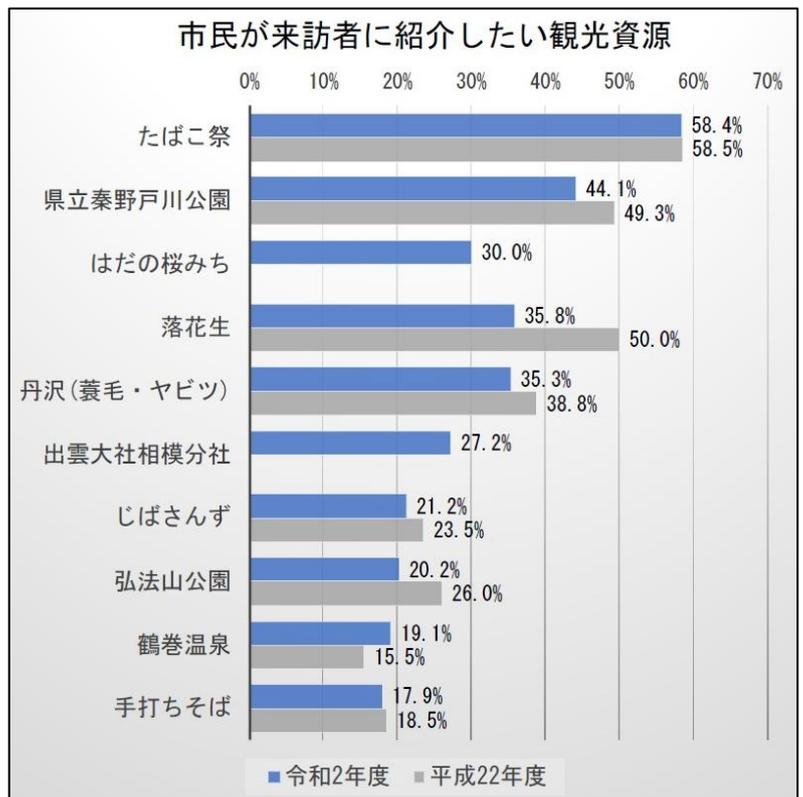


出典：第2期秦野市観光振興基本計画（2021年）

##### ② 市民が来訪者に紹介したい本市の観光資源

「市民が来訪者に紹介したい本市の観光資源」では、8番目となっている一方で、「市民による観光資源の利用状況」では「弘法山公園」は上位10項目に入っていません。

市民による利用は少ないことが分かります。



出典：第2期秦野市観光振興基本計画（2021年）

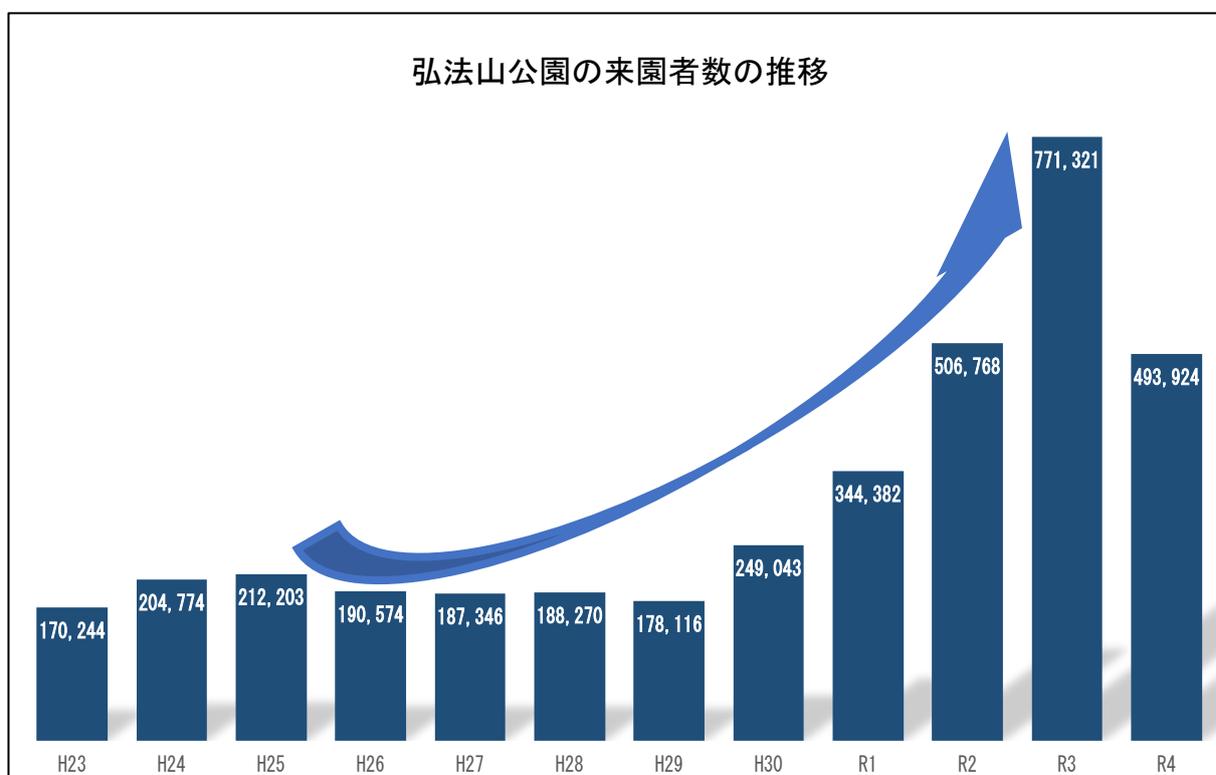
### ③ 神奈川県入込観光客調査（弘法山公園）

神奈川県入込観光客調査によると、令和4年（2022年）は前年に対して観光客が減少したものの、新型コロナウイルスによる外出自粛等の影響は少なく、観光客は年々増加しています。

また平成23年（2011年）からの11年間では約290%増加しています。

#### 【過去5年の推移】

- 令和 4年（2022年）：493,924人（前年△277,397人）
- 令和 3年（2021年）：771,321人（前年+264,553人）
- 令和 2年（2020年）：506,768人（前年+162,386人）
- 令和 元年（2019年）：344,382人（前年+95,339人）
- 平成 30年（2018年）：249,043人（前年+70,927人）



※ 令和3年（2021年）は、新型コロナウイルス拡大の影響により、調査基準日が花見の時期となったため、例年よりも大幅に観光客が増加しています。

#### ④ 大手旅行口コミサイト等の評価

大手旅行口コミサイトである「トリップアドバイザー」及び「Google」における弘法山公園の評価は以下の通りであり、いずれも高い評価を得ています。

##### a. トリップアドバイザー

66 件の口コミがあり、5 点満点中「4.0」と高評価であるほか、本市観光資源では、県立秦野戸川公園、塔ノ岳に次ぎ、第3位の口コミ評価を得ています。

(令和5年(2023年)10月11日時点)

### 弘法山



66件の口コミ・秦野市の観光60件中：3位・山

口コミを書く

#### 旅行者の感想

著者：TSK  
ミニハイキング  
2022年10月  
10月第1土曜日の9：45、無料駐車場に車を停め、弘法山公園入口～権現山～浅間山～展望台のコースを約2時間かけて、楽しんだ。

著者：Tokyo Boggytan  
"見飽きることはない"  
2023年1月  
秦野付近をドライブ中、富士山が素晴らしい見えた。側道に駐車して、富士山が綺麗に見えるところで、検索。細い道を少し登り、車を停めて八...

編集を提案して表示内容を改善  
掲載内容を改善



すべての写真 (137 枚)

##### b. Google

Google には 662 件の口コミがあり、5 点満点中「4.1」と高評価を得ています。

(令和5年(2023年)10月11日時点)

### 弘法山公園

日本、〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋5890

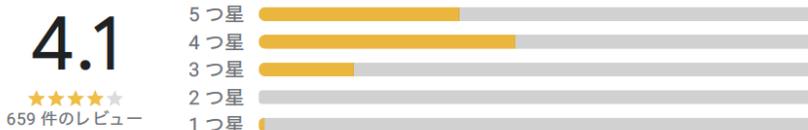
ウェブサイト 経路案内 共有 24時間営業

4.1 ★★★★★  
とても良い | 659 件のレビュー

春の桜と秋の紅葉が美しい公園。展望台や野鳥観察用の施設もある。ハイキングにも最適。

Google でのレビューの概要

レビューを書く



シホ  
"口コミから見つけた公園。最近秦野にある温泉にリハビリに来ています。"

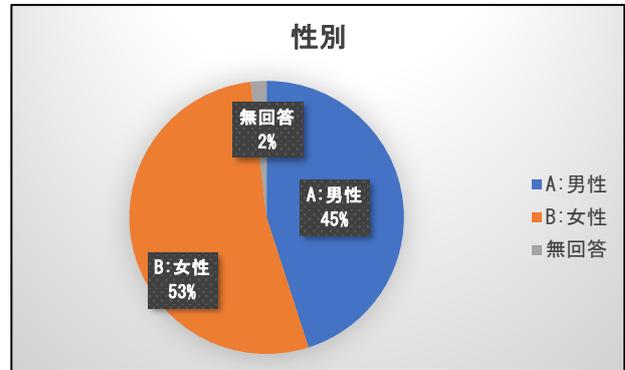
ready hawker  
"山頂の展望台の建物が2階建てでしっかりとした作りです。"

## ⑤ 弘法山公園来訪者アンケート調査結果

令和2年（2020年）から令和5年（2023年）までに実施した、弘法山公園来訪者アンケートの調査結果（総数1,266件）は以下の通りです。

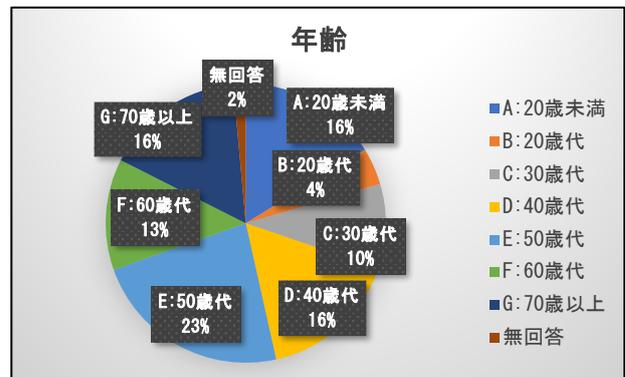
### a. 性別

性別は、「男性」が45%、「女性」が53%であり、「女性」の利用者数が「男性」の利用者数よりやや多くなっています。



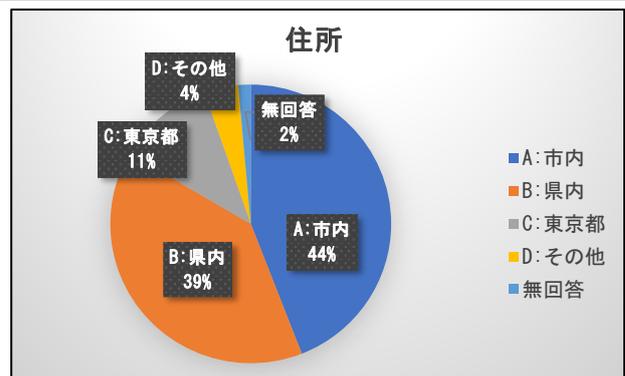
### b. 年齢

年齢は、「60歳代以上」が29%、「40歳代・50歳代」が39%と、中高年層が68%を占めており、「30歳代以下」の若年層の割合は30%、利用者全体の3分の1を下回っています。



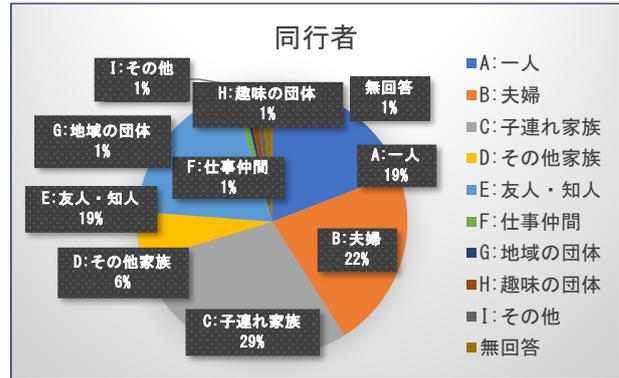
### c. 住所

住所は、「市内」の利用者よりも「市外」からの利用者の方が多く、「市内」及び「県内」からの利用者が全体の8割を占めています。



#### d. 同行者

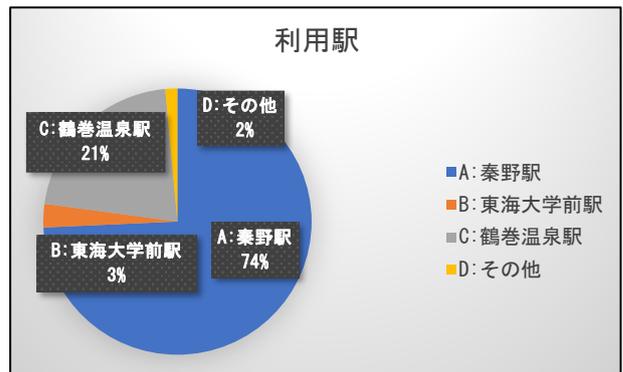
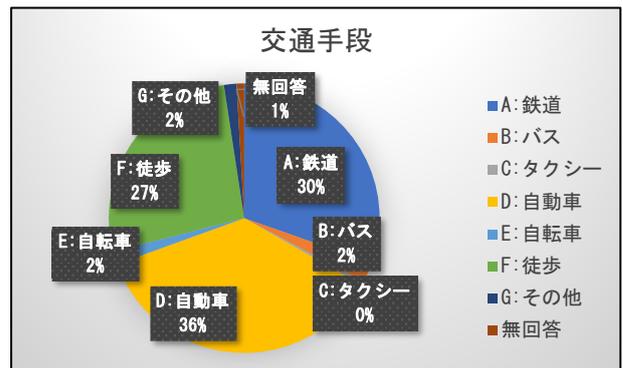
同行者は、「子連れ家族」が29%で最も多く、次いで、「夫婦」22%、「一人」及び「友人・知人」19%、「その他家族」6%の順となっています。



#### e. 交通手段と鉄道を利用した人の利用駅

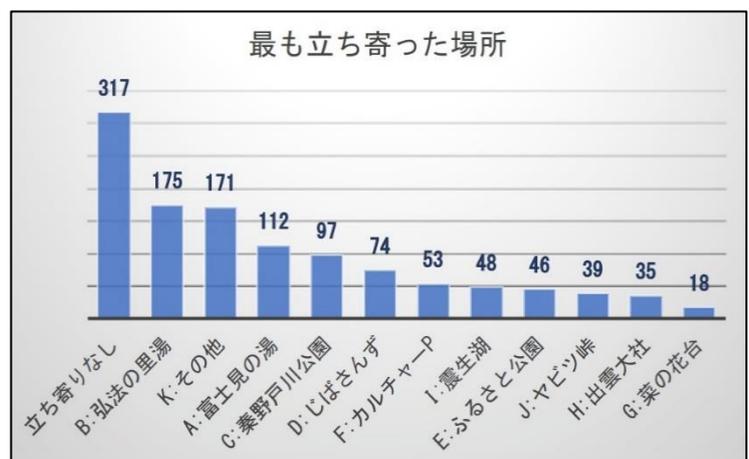
交通手段は、「自動車」の割合が最も多く36%、次いで「鉄道」30%、「徒歩」27%となっています。

また、鉄道利用者の利用駅は秦野駅が最も多く74%、次いで鶴巻温泉駅21%であり、東海大学前駅の利用者は、回答者のわずか3%です。



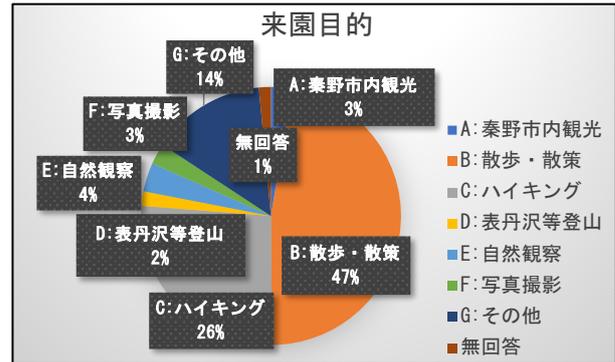
#### f. 最も立ち寄った場所

7割以上の方が、どこかに立ち寄っており、場所として最も多いのは「弘法の里湯」で15%、次いで「富士見の湯」9%、「秦野戸川公園」8%、「じばさんず」6%、となっています。



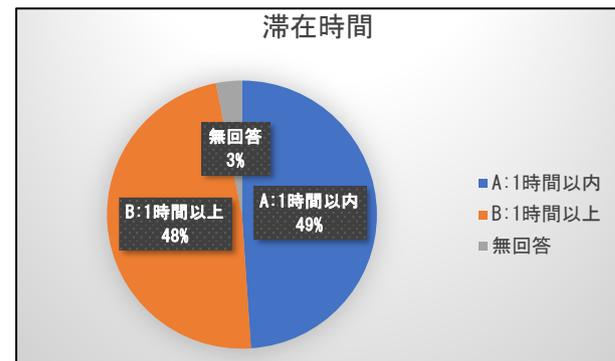
### g. 来園目的

来園目的は、「散歩・散策」が最も多く47%、次いで「ハイキング」26%、「自然観察」4%、「写真撮影」及び「市内観光」3%、「表丹沢等登山」2%の順となっています。



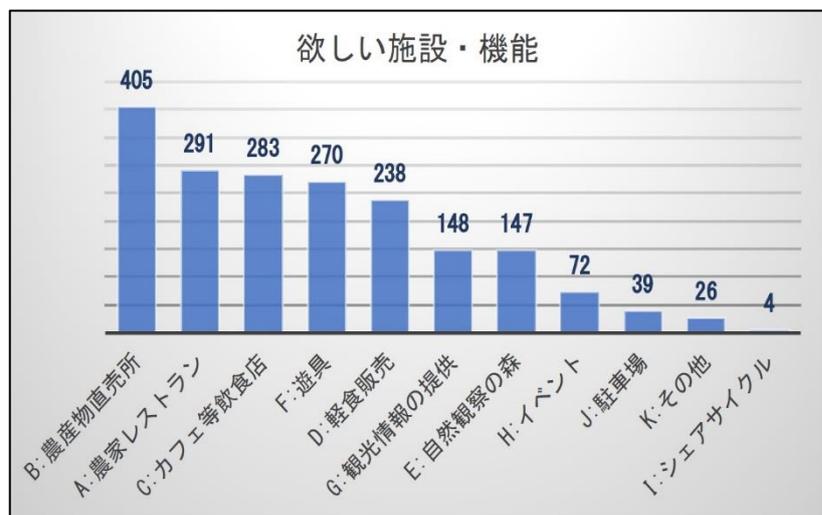
### h. 滞在時間

滞在時間は、半数の来訪者が、「1時間以内」に帰っています。



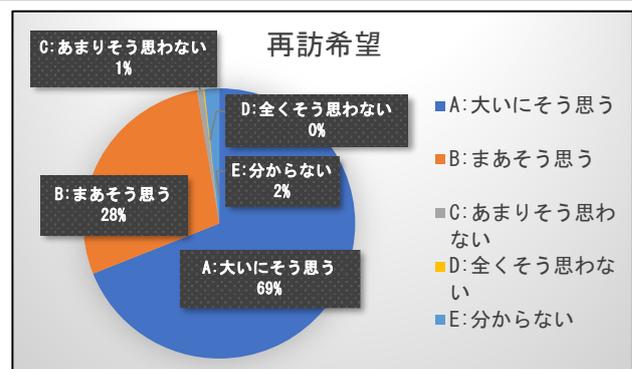
### i. 欲しい施設・機能（複数回答）

最も欲しいとされた施設・機能は「農産物直売所」で、次いで「農家レストラン」、「カフェ等飲食店」、「遊具」、「軽食販売」、「観光情報の提供」、「自然観察の森」の順であり、飲食・物販施設が全体の6割強を占め、多くの人求められています。



### j. 再訪希望

「大いにそう思う」69%、「まあそう思う」28%であり、「大いにそう思う」と「まあそう思う」の計が97%と、満足度は非常に高くなっています。



## k. 自由意見

### ア 要望・意見

自由意見の内、右表に示す通り、「施設整備」に関するものが最も多く91件、次いで、「管理運営」に関する物が80件、「環境保全」に関するものが14件です。

個別の項目としては、「施設整備」では、サインに関するものが最も多く、次いで、駐車場、園路広場、飲食・物販施設、休憩施設、遊戯施設、野鳥観察施設に関するものが多く寄せられています。

一方、「管理運営」では、利用管理に関するものが最も多く、次いで、施設管理、植栽管理、情報発信、安全管理に関するものが多く寄せられています。

また、「環境保全」に関しては、自然環境全体の保全、野生植物や野生動物の保全に関するものが挙げられています。

個別の要望・意見として最も多いのが、イベントの定期開催、次いで、駐車場の増設、サインの充実、イベントでの飲食出店、飲食・物販施設の整備、ベンチ・野外卓の増設、今ある自然の保全、園路の改良等です。

大項目	小項目	キーワード	意見数				
施設整備	91	サイン	20	園内サインの充実	10		
				登山道サインの充実	6		
				自然観察サインの充実	2		
				イベント時サインの充実	1		
				風景写真の説明	1		
		駐車場	17	駐車場の増設	12		
			山頂部への駐車場整備	2			
			BF対応駐車場確保	2			
			イベント用駐車場確保	1			
		園路広場	11	園路の改良	6		
			交通アクセスの強化	1			
			眺望場所の整備	1			
			園路広場のBF化	1			
			広場の整備	1			
				歩道と車道の明確化	1		
		飲食物販施設	10	飲食物販施設の整備	8		
			自販機の設置	2			
		トイレ	9	トイレの増設	6		
			第1駐車場へのトイレ設置	2			
			吾妻山付近へのトイレ設置	1			
		休憩施設	8	ベンチ・野外卓の増設	8		
		遊戯施設	6	子供の遊び場の整備	6		
		その他の施設	10	野鳥観察施設の修理	4		
			羊の放牧施設	2			
			シェアサイクル	1			
			イルミネーション	1			
			キャンプ場	1			
	案内所の設置		1				
管理運営	80	利用管理	49	イベントの定期開催	24		
				イベントでの飲食出店等	10		
				新たなイベント開催	5		
				イベントの適正管理	4		
				キッチンカーの定期出店	2		
				イベント時のバス運行	1		
				テント泊を可能に	1		
				トレランの利用制限	1		
				野鳥観察施設の利用管理	1		
				施設管理	15	トイレの清掃管理	5
					登山路の適正管理	3	
					ボランティアによる清掃	2	
					園路の安全対策	1	
		駐車場の適正管理	1				
		富士見の湯の利用料値下げ	1				
		受信環境の改善	1				
		展望台の維持管理	1				
		植栽管理	8	眺望阻害木の除去	5		
			古損木の除去	3			
		情報発信	6	利用案内の充実	5		
	イベント告知の拡大		1				
	安全管理	2	山ビル対策	1			
		山火事の防止	1				
環境保全	14	自然環境全体	7	今ある自然の保全	7		
				野生植物	4		
			野生植物の保護	2			
			桜の更新	2			
		野生動物	3	適正な動物管理	2		
	野鳥の生息環境の保全		1				
街づくり	2	市全体	1	秦野市の活性化	1		
				鶴巻温泉駅周辺	1		
		鶴巻温泉駅付近に居酒屋	1				

## イ 感想等

自由意見の内、感想等に関するものは、右表に示す通りです。

全体の9割以上が肯定的な感想であり、公園の利用環境が良いという意見が最も多く、次いで、公園管理、自然環境、眺望環境等が好評価を得ています。

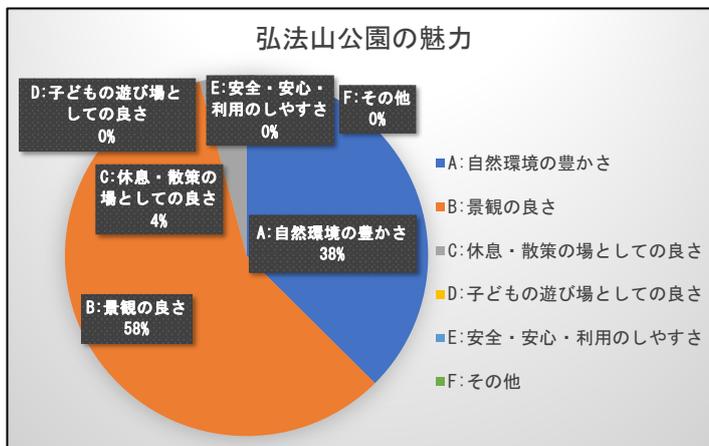
大項目	小項目	キーワード	意見数
肯定的感想	利用環境	64 散策・登山に良い	28
		園内環境が良い	19
		イベントが良い	17
	公園管理	36 公園管理が良い	21
		トイレが清潔	15
	自然環境	15 自然環境が良い	15
	眺望環境	9 眺望が良い	9
アクセス	7 アクセスが良い	7	
否定的感想	利用管理	14 イベント時の騒音	5
		登山道の改良	3
		利用者の意識向上	3
		イベント時の混雑	1
		スズメバチ対策	1
		眺望障害木の存在	1
その他の感想	その他	8 その他	8

## 2) 弘法山公園周辺地域のニーズ

弘法山公園周辺地域の関係者等 28 名に対するニーズ調査の結果は以下の通りです。

### ① 弘法山公園の魅力

弘法山公園の魅力は、右図の通りであり、「景観の良さ」が 58% で最も多く、次いで、「自然環境の豊かさ」が 38%、「休息・散策の場としての良さ」が 4% です。



### ② 欲しい施設・機能

弘法山公園に欲しい施設・機能は、「カフェ等飲食店」が最も多く、次いで、「農家レストラン」、「軽食販売」、「自然観察の森」です。

飲食・物販施設の合計は全体で 7 割弱であり、地元関係者は、弘法山公園の景観や自然環境を活かした「飲食・物販機能」の導入を求めていることが分かります。



### ③ 改善すべき点

- **利用しやすさ**：アクセスの改善（道路の改良、駐車場の拡充、シェアサイクルの導入等）、ハイキングコースの整備、分かりやすいマップの作成、案内サインの充実 等
- **見所の明確化**：歴史・文化資源の PR、眺望スポット等の改善・創出、四季を感じる植栽、自然観察ポイントの設置 等
- **飲食機能の導入**：カフェ、キッチンカー
- **安心・安全対策**：園路や施設のユニバーサルデザイン化、山ビル対策、トイレの清掃管理 等

#### ④ 公園内で魅力向上に必要な点

- 利便性の向上：アクセスの周知、気軽さ・歩きやすさの向上、駐車場の拡充、登山道の安全性確保、道標や看板の整備、安心・安全なトイレ整備 等
- 新たな利用機能の導入：カフェ・レストラン、飲食販売所、休憩所、新規イベント、ドッグラン 等
- 滞留・滞在機能の強化：花木・紅葉木、花畑、アスレチック 等
- 現在の利用資源の魅力向上：歴史・文化資源のPR、眺望の確保、セラピーロードの魅力向上、豊かな自然環境の維持・改善 等

#### ⑤ 公園周辺で魅力向上に必要な点

- アクセスの改良：交通手段の充実、歩道・車道の明確化、園路のバリアフリー化、3 駅からのハイキングコース整備、駐車場の拡充
- 利用形態別ゾーニング：身近な公園・レジャーゾーン・自然の多いハイキングコースのゾーニング
- 公園周辺の利用機能の充実：農産物直売所の設置、動物等のふれあいの復活
- 広域的な利用機能の充実：弘法山公園を軸とした回遊ルートや遊歩道の整備、「名水はだの富士の湯」や「弘法の里湯」等との連携、周辺エリアへの飲食・物販施設の誘致 等

#### ⑥ 公園と連携した地域活性化のアイデア

- 公園へのアプローチの整備：3 駅からアクセスできるハイキングコースの適正管理
- 3 駅における公園利用の起終点機能の充実：商店街での購買優遇制度（割引サービス等）の導入、待ち時間に利用できる土産店や喫茶店、ハイキングツアーの充実、観光パンフレット・観光案内所の充実、シェアサイクル・無料駐輪場の設置 等
- 交通会社との連携：「散策→温泉→宿泊」ができるプランの企画 等
- 地域の資源を活かした飲食・物販等：観光農園、園内の雑木林管理で得られた木材や薪（炭）を利用した飲食店（ピザ、焼肉、焼鳥、薫製など）

## ⑦ 公園活性化に寄与できる点

- 学識経験者：学生を活用したイベント・調査研究 等
- 農業関係者：観光農園の開園希望に関する調査
- 地域住民：弘法山をきれいにする（美化清掃、草刈、不要樹木の伐採）、観光客・住民の安全対策、催し物の手伝い、積極的な公園利用、弘法山ハイキングマップ等の各店舗への設置、デジタルスタンプラリー協賛、ジビエ料理の提供や土産物の販売 等
- 公共交通事業者：PRによる認知度向上、バスの運行本数等輸送面での寄与
- 公園周辺事業者：「名水はだの富士見の湯」を起点としたサービス等の提供（割引券発行、シェアサイクル駐輪場の提供、体験農園への協力）
- 旅行事業者：定期的なハイキングツアー
- 広報事業者：広報活動
- 公園内活動団体：園路の森林セラピーロードとしての活用、雑木林の管理に伴う薪や木材の提供

## ⑧ その他要望等

- 自然環境の保全：ハイキングができる数少ない場所として現在の自然を良好に保全
- 利用機能の強化：遊具の整備、市内小学校の遠足利用拡大、地場産食堂の設置、公園へのアクセスルートの充実、駐車場の拡張、主要施設へのアクセス強化
- 広報宣伝の展開：公共交通機関と連携したPR活動、野鳥観察ポイントやハイキングルートを記載したガイドブックの作成、商店会とコラボしたスタンプラリーの開催、分かりやすい情報発信

## 4. 弘法山公園の利活用に向けた課題

弘法山公園利活用の計画条件及び弘法山公園の利活用に関するニーズから考えられる、弘法山公園の利活用に向けた課題は以下の通りです。また、各地域における主な課題を解決すべく、次頁の通りゾーニングしました。

表 弘法山公園の利活用に向けた主な課題

項目	主な課題
上位関連計画からの課題	・弘法山公園を活用した3駅周辺の活性化
	・馬場道広場などの有効活用
	・各種維持管理（景観の保全、トイレ等の維持管理）
	・市民による有効活用の促進
現況とポテンシャルからの課題	・公園周辺を含めた魅力向上（散策路・展望空間等の安全対策・利便性向上、情報発信の強化、希少植物の保全・活用、山ビル対策 等）
	・利用機能の強化（アクセスの強化、景観や動植物資源の利活用の強化、イベントの実施 等）
	・来訪者の増加及び消費拡大等の地域活性化
	・市有地の活用、景勝地などの用地取得の検討
来訪者ニーズからの課題	・施設整備（園内及び登山道等サインの充実、駐車場増設やバリアフリー化、園路の改良、飲食・物販施設の整備、ベンチ・トイレ等の増設、野鳥観察施設の修理 等）
	・管理運営（イベントの定期開催、眺望阻害木の除去、トイレの清掃管理 等）
	・環境保全（現在の自然環境の保全）
地域ニーズからの課題	・豊かな自然環境の保全・活用（眺望の保全、森林セラピーロードの魅力向上、遠足利用 等）
	・利便性の向上（駐車場の拡充、施設や園路のユニバーサルデザイン化、道標の充実、シェアサイクルの導入）
	・周遊性の向上（3駅からのハイキングコースの適正管理、商店街での購買優遇制度の導入 等）
	・広報宣伝の展開（歴史・文化資源のPR、公共交通事業者と連携したPR、公園マップの作成）
	・各種整備（飲食・物販施設、自然観察の森、農産物直売所、観光農園、子供の遊び場 等）

# 弘法山公園利活用のゾーン別検討課題



A まちなか観光促進ゾーン	B 里山活用促進ゾーン	C 誘客促進拠点ゾーン	D 歴史資源周遊促進ゾーン	E 温泉癒し促進ゾーン
<p>各商店会と河川敷を通る2つのハイキングコースがあるため、コース沿いにあるお店や文化財、名水等の地域資源を活用した取組が必要です。</p> <p>また、まちなか観光を促進するため、地域住民に配慮しながら、地域活性化につながる新たなコース設定や取組が必要です。</p> <p>加えて、ハイカー等が通過する時間帯を見据え、定期的なイベントを開催する等、既存の観光客の取り込み策が必要です。</p>	<p>「はだのクリーンセンター建設に伴う便利施設周辺の土地利用方針」の趣旨を踏まえ、里山を活用した取組が必要です。</p> <p>また、「名水はだの富士見の湯」と連携した取組や整備により、新たな誘客を生む取組が必要です。</p> <p>加えて、農業体験機能の創出として、「はだのクリーンセンター」の余熱の活用等を利用した検討も必要です。</p>	<p>3駅をつなぐ観光拠点として、ハイカー等の観光客の需要に応え、誰もが安全・安心に利用できるよう維持管理や整備をするほか、弘法山公園を拠点に活動する団体等とも連携した取組が必要です。</p> <p>また、弘法山公園の魅力である優れた景観や豊かな自然環境を活かした新たな魅力づくりが必要です。</p> <p>加えて、周辺には十分に活用されていない広場等があるため、有効な利活用について検討が必要です。</p>	<p>弘法山公園の利用に東海大学前駅を利用する人は少なく、情報も少ないため、アクセス強化や情報発信が必要です。特に、弘法山公園から東海大学前駅までのハイキングコースでは、お店や文化財等の地域資源を活用した取組により魅力の向上を図るほか、道標の整備や効果的な広報宣伝等が必要です。</p> <p>また、学生街という特長を活かした誘客促進策の検討も必要です。</p>	<p>「鶴巻温泉」等を活かした、にぎわい創造に加え、鶴巻温泉旅館組合等の事業者と連携したイベント開催や商品開発等の取組が必要です。</p> <p>また、小田急電鉄や神奈川中央交通等の交通機関や観光事業者等との協働による弘法山公園の魅力の情報発信も重要です。</p> <p>加えて、鶴巻温泉等との協働による弘法山公園利活用プロジェクトの展開が求められます。</p>

## 5. 弘法山公園利活用方針（案）

### 1) 弘法山公園利活用の基本理念

弘法山公園は、「豊かな自然環境」や「優れた眺望景観」、「多くの歴史・文化資源」、市街地からも近く3駅（秦野駅、東海大学前駅、鶴巻温泉駅）から訪れることができる「立地の良さ」など、多くのポテンシャルを秘めた公園です。利活用を考えるに当たり、これらの魅力を磨き上げ、融合した取組を進めることで、相乗効果により更に魅力的な公園となり、周辺地域を巻き込んだ一体的な地域活性化にもつながると考えます。

このような考えから、弘法山公園利活用の基本理念を「気軽にお出かけ『弘法の郷』～悠々たる『魅力』と3駅『にぎわい』の創出～」とします。

#### ◆ 弘法山公園利活用の基本理念

気軽にお出かけ『弘法の郷』  
～悠々たる『魅力』と3駅『にぎわい』の創出

#### 【基本理念の解説】

基本理念の「弘法の郷」には、弘法山公園及びその周辺地域は、誰もが気軽に来訪でき、多くの魅力が詰まった場所にしたいという意味を込めました。

また、「悠々」は、弘法大師の名言の一つで、「はるかに限りない」という意味があります。現在も点在している多くの魅力に加え、利活用方針に基づき創出される新たな魅力、そして、それらがもたらす3駅のにぎわいなど、限りない可能性が秘められています。

## 2) 弘法山公園利活用の基本方針

弘法山公園利活用の基本理念を踏まえ、基本方針を以下の通り設定します。

### ① 弘法山公園の持つ“豊かな観光資源の魅力アップ”

弘法山公園の持つ、美しい森林、野生植物、桜や紅葉等の魅力的な自然環境をはじめ、富士山や大山、相模湾等への優れた眺望・景観等の、豊かな観光資源を適切に保全するとともに、磨き上げることにより、「弘法山公園の持つ豊かな観光資源の魅力アップ」を図ります。

### ② 豊かな自然を活かした“弘法山公園の新たな魅力づくり”

弘法山公園の利活用に関する来訪者や地域のニーズを踏まえ、弘法山公園の豊かな自然環境や優れた眺望・景観、歴史・文化資源等の、「豊かな自然を活かした弘法山公園の新たな魅力づくり」を検討します。

### ③ 弘法山公園を核としたネットワーク強化による“3駅のにぎわいづくり”

地域住民、秦野駅・東海大学前駅・鶴巻温泉駅商店街や関係事業者等との連携による、「弘法山公園を核とした観光ネットワークの強化による3駅のにぎわいづくり」を進めます。

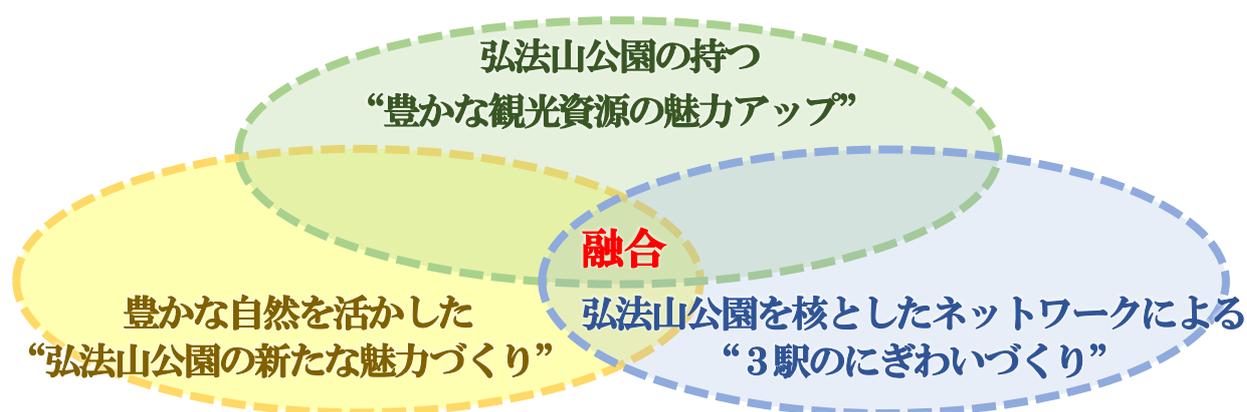
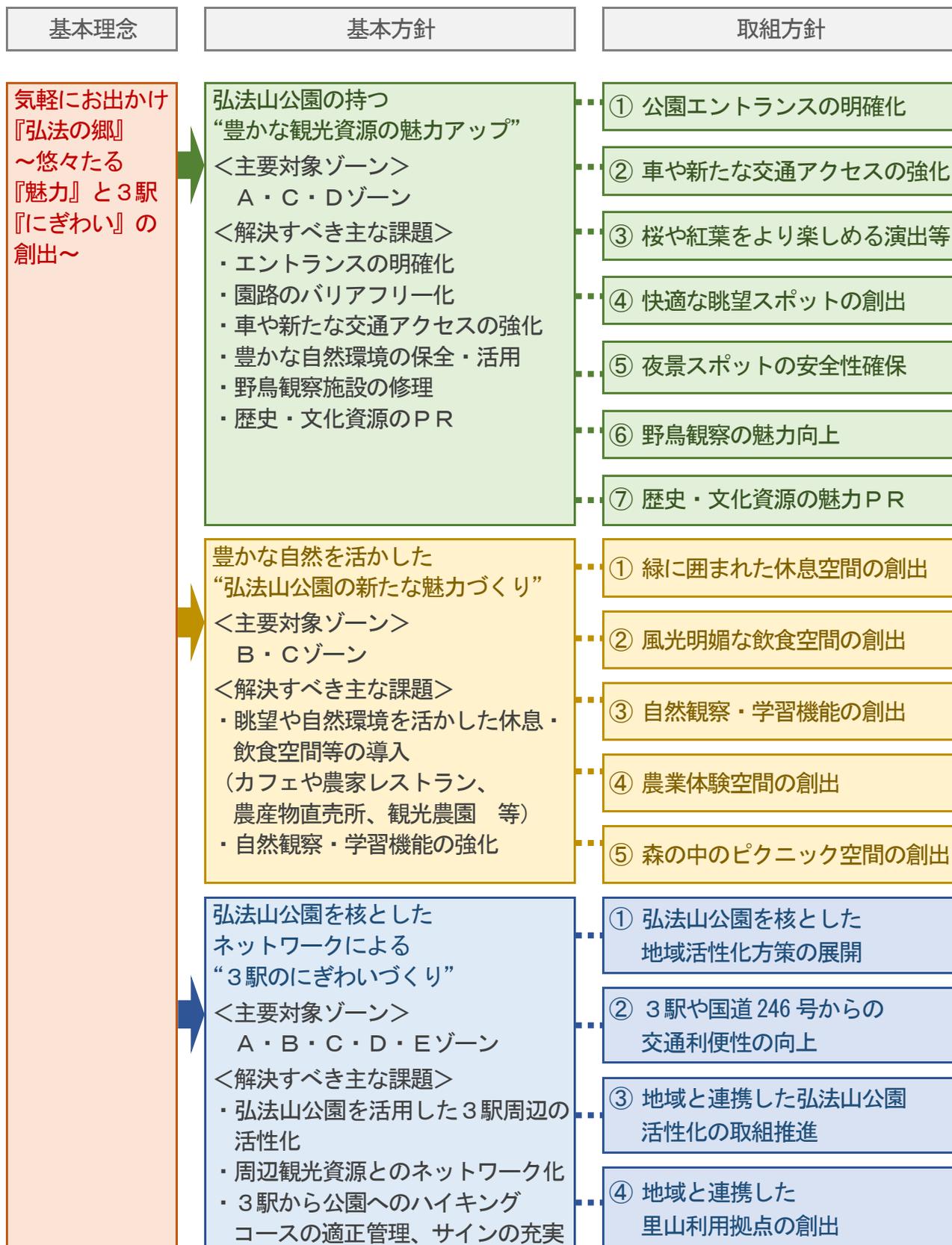


図 弘法山公園利活用の基本方針のイメージ

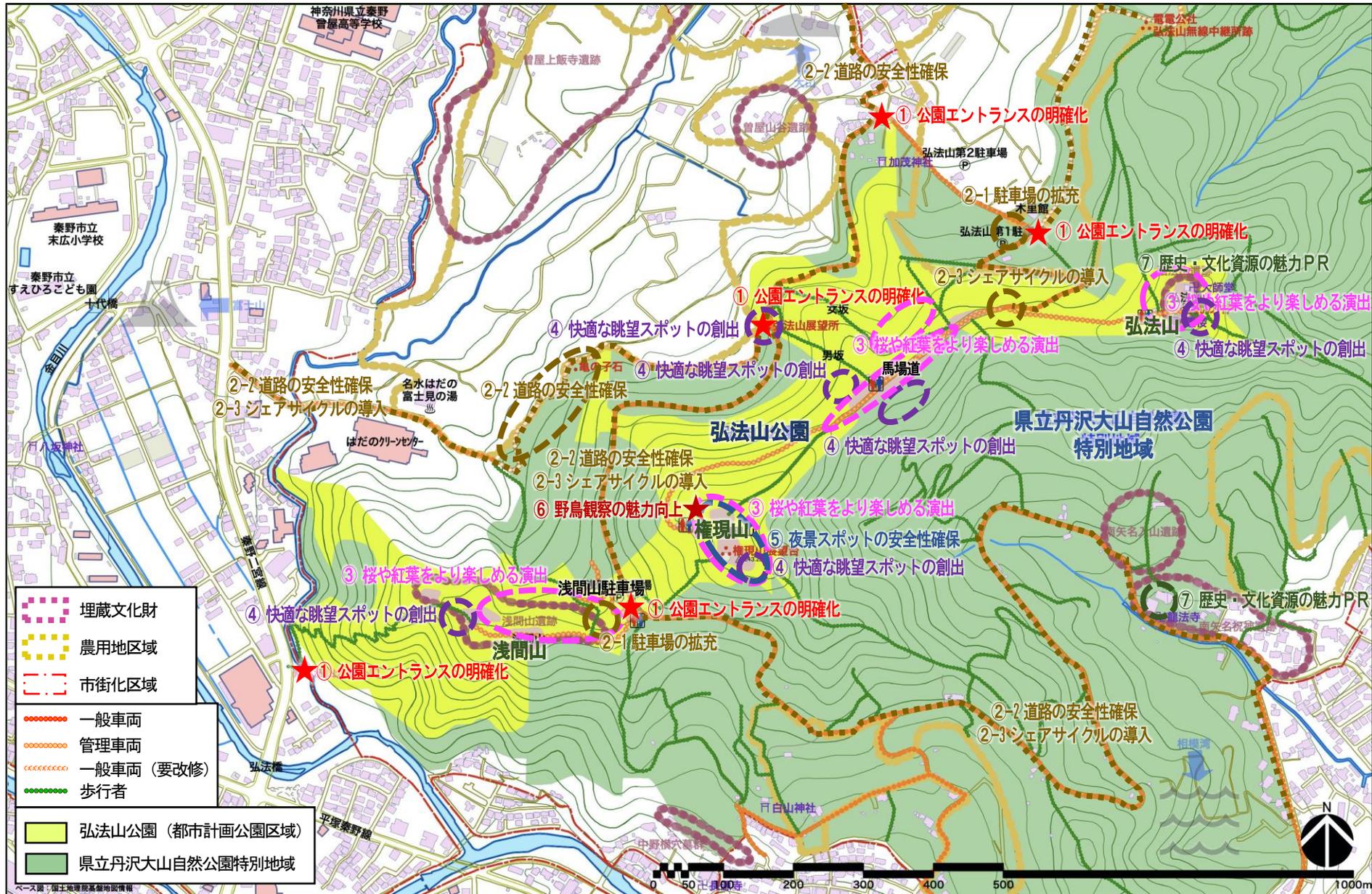
### 3) 弘法山公園利活用に係る取組の体系

弘法山公園利活用の基本方針に基づく「弘法山公園利活用に係る取組の体系」は以下のとおりです。



#### 4) 基本方針1：弘法山公園の持つ“豊かな観光資源の魅力アップ”

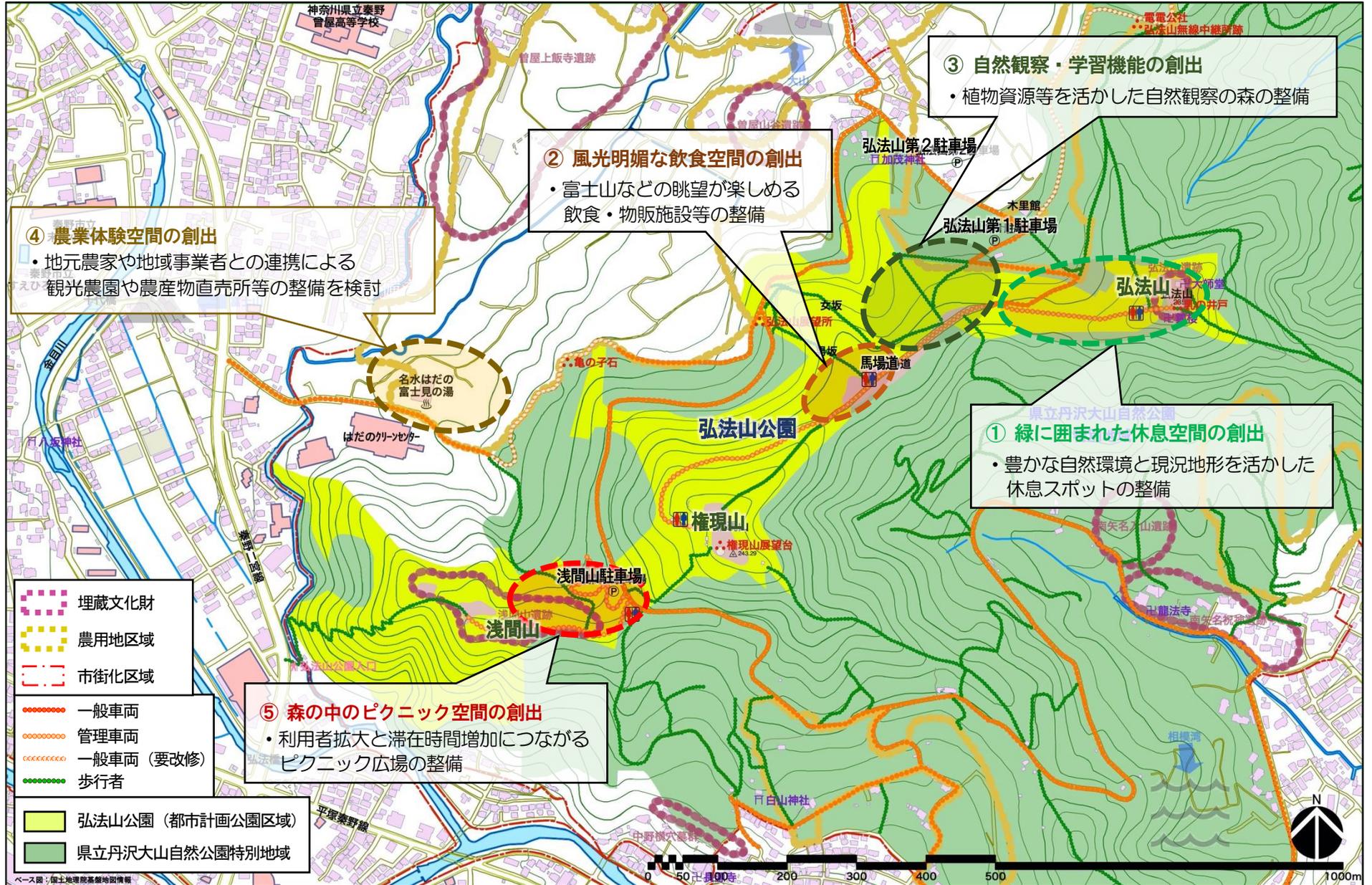
取組方針	主な検討内容
<p>① 公園エントランスの明確化</p>	<p>公園の各入口周辺における道標や看板の更新・設置等  <b>【対象箇所】</b>                      弘法山公園入口、弘法山第1駐車場付近、浅間山駐車場付近</p>
<p>② 車や新たな交通アクセスの強化</p>	<p>駐車場の拡充、道路の安全性確保、シェアサイクル等の導入 等  <b>【対象箇所】</b>                      弘法山公園及びその周辺                      ※写真：サイクリングのイメージ</p> 
<p>③ 桜や紅葉をより楽しめる演出等</p>	<p>イベントの定期開催、地元商業者による出店、桜や紅葉のライトアップ、適正な維持管理 等  <b>【対象箇所】</b>                      浅間山、権現山、弘法山、馬場道</p>
<p>④ 快適な眺望スポットの創出</p>	<p>眺望障害木の除去、眺望スポットの改善・創出、ベンチ等の設置 等  <b>【対象箇所】</b>                      浅間山、権現山、弘法山、馬場道 ほか                      ※写真：馬場道広場からの富士山</p> 
<p>⑤ 夜景スポットの安全性確保</p>	<p>園路照明の設置、園路の安全性確保（ユニバーサルデザイン化） 等  <b>【対象箇所】</b>                      浅間山、権現山、馬場道</p>
<p>⑥ 野鳥観察の魅力向上</p>	<p>バードサンクチュアリの改修、野鳥紹介看板の更新、課外授業等による利用の促進 等  <b>【対象箇所】</b>                      権現山 ほか</p>
<p>⑦ 歴史・文化資源の魅力PR</p>	<p>歌碑等を活用したイベント（前田夕暮等）、伝統行事のPR（瓜生野百八松明等） 等  <b>【対象箇所】</b>                      権現山、弘法山、馬場道、龍法寺 ほか</p>



■ 基本方針 1：弘法山公園の持つ“豊かな観光資源の魅力アップ”

5) 基本方針2：豊かな自然を活かした“弘法山公園の新たな魅力づくり”

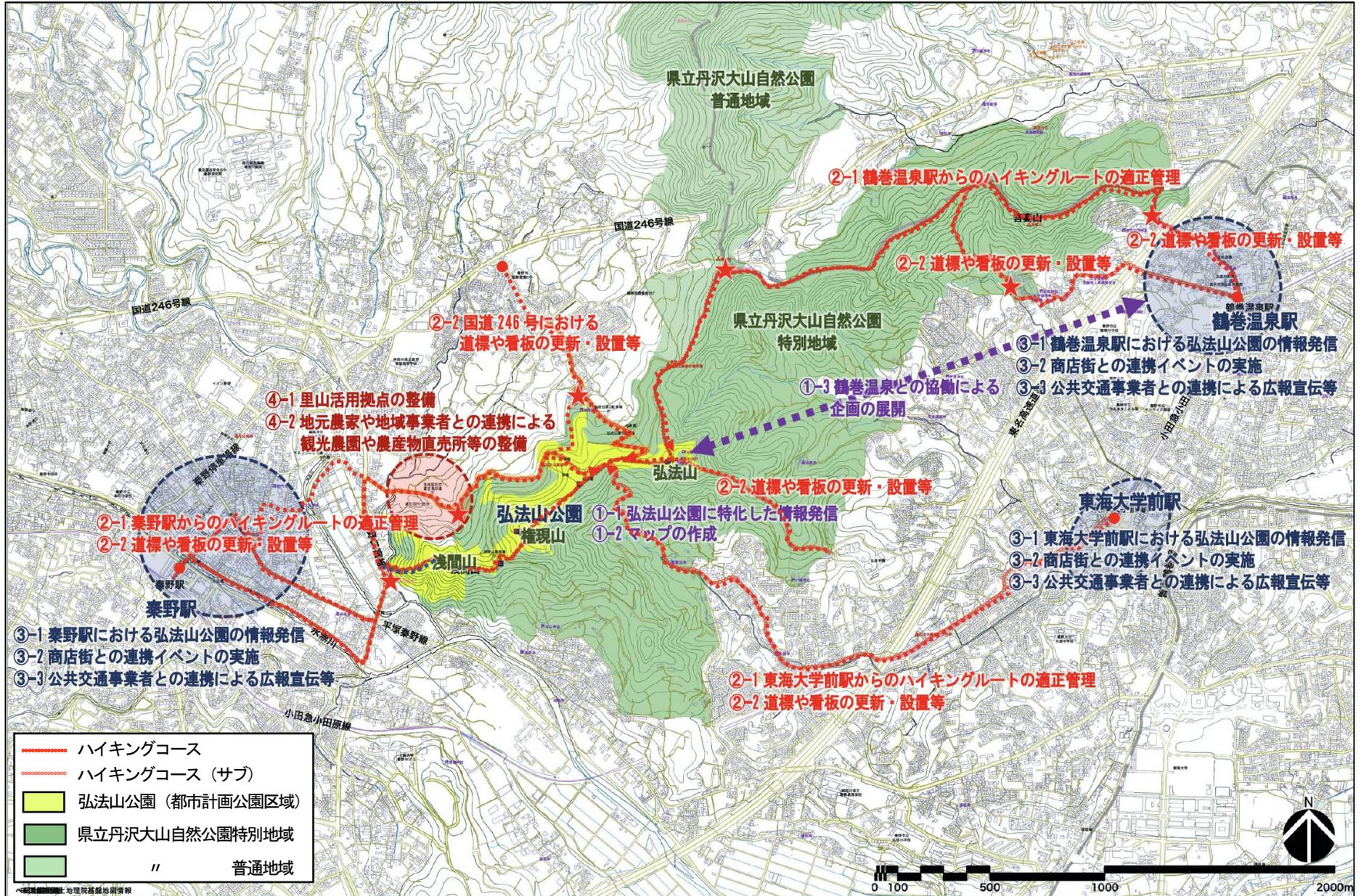
取組方針	主な検討内容	
<p>① 緑に囲まれた休息空間の創出</p>	<p>豊かな自然環境と現況地形を活かした休息スポットの整備  <b>【候補箇所】</b>                      弘法山付近                      ※ 写真：緑に囲まれた休息空間のイメージ</p>	
<p>② 風光明媚な飲食空間の創出</p>	<p>富士山などの眺望を楽しめる飲食・物販施設等の整備  <b>【候補箇所】</b>                      馬場道                      ※ 写真：眺望が楽しめる飲食空間のイメージ</p>	
<p>③ 自然観察・学習機能の創出</p>	<p>植物資源等を活かした自然観察の森の整備  <b>【候補箇所】</b>                      馬場道北東部                      ※ 写真：自然観察空間のイメージ</p>	
<p>④ 農業体験空間の創出</p>	<p>地元農家や地域事業者との連携による観光農園や農産物直売所等の整備  <b>【候補箇所】</b>                      「名水はだの富士見の湯」周辺                      ※ 写真：農業体験のイメージ</p>	
<p>⑤ 森の中のピクニック空間の創出</p>	<p>利用者拡大と滞在時間増加につながるピクニック広場の整備  <b>【候補箇所】</b>                      浅間山                      ※ 写真：ピクニック広場のイメージ</p>	



■ 基本方針 2 : 豊かな自然を活かした“弘法山公園の新たな魅力づくり”

6) 基本方針3：弘法山公園を核としたネットワークによる“3駅のにぎわいづくり”

取組方針	主な検討内容
<p>① 弘法山公園を核とした地域活性化方策の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘法山公園に特化した情報発信</li> <li>・マップの作成</li> <li>・鶴巻温泉との協働による企画の展開 等</li> </ul> <p>※ 写真：弘法山公園から行ける歩いて楽しい商店街マップ</p> 
<p>② 3駅や国道246号からの交通利便性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3駅や国道246号における道標や看板の設置</li> <li>・3駅からのハイキングコースの適正管理</li> <li>・公園への各入口周辺における道標や看板の更新・設置等（再掲） 等</li> </ul> <p>※ 写真：弘法山公園入口の道標</p> 
<p>③ 地域と連携した弘法山活性化の取組推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3駅における弘法山公園の情報発信</li> <li>・3駅の各商店街との連携イベントの実施</li> <li>・公共交通事業者等との協働による広報宣伝 等</li> </ul>
<p>④ 地域と連携した里山利用拠点の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山利用拠点の創出 （「名水はだの富士見の湯」や「はだのクリーンセンター」等との連携）</li> <li>・地元農家や地域事業者との連携による観光農園や農産物直売所等の整備（再掲） 等</li> </ul> <p>※写真：はだのクリーンセンター</p> 



■基本方針3：弘法山公園を核としたネットワークによる“3駅のにぎわいづくり”